

「第49回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました

8月7日に東海三県のみどりの少年団員47名が一堂に集い、「第49回東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー」を愛知県豊田市の「愛知県緑化センター」で開催しました。

岐阜県からは、海津市みどりの少年団、揖斐川町の北方小学校みどりの少年団、そして高山市から本郷小学校みどりの少年団の3少年団23名が参加しました。

日帰りの日程で開催され、全体を2班に分けて、午前と午後交互に「自然観察ラリー」と「楽しく学ぼう紙のリサイクル」を行いました。

自然観察ラリーでは、本館周辺で気に入った樹木の葉や枝などを採取しました。それを室内へ持ち帰り、器に並べて水に浸し、そこへモリゾーやキッコロの小さい置物も一緒に置いて「水のある風景づくり」に取り組みました。完成した作品はみんなで鑑賞して自由に感想を述べ合いました。

また、楽しく学ぼう紙のリサイクルでは、紙のリサイクルについてのお話を聞いたあと、古紙を使った手すきはがきづくりを体験し、資源の適切なリサイクルのための分別や資源の活用について学びました。

日帰りのため活動は限られた時間でしたが、体験を通じてみんなはすぐに仲良くなり、団員同士の絆や交流も深まり、夏休みの良い思い出になったと思います。

次回は、三重県での開催を予定していますので、県内からも多くのみどりの少年団の皆さんの参加を期待しています。



みどりの少年団
勢ぞろい



集合写真

葉っぱで舟づくり



自然観察

工夫して
作ってみよう



水のある風景づくり

どれも
すばらしい



作品の鑑賞会

わかったかな



紙のリサイクルのお話し

うまく
できるかな



手すきはがきづくり

[公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆]